

【4-8 定性的システムティックレビュー】

CQ	7	シスプラチン投与時のshort hydrationは推奨されるか？
P		シスプラチン投与時は、腎毒性を軽減するために2,500ml以上の補液を10時間以上かけて投与することが添付文書に記載されている。しかし、腎毒性の発現率を増加させることなく、少量の輸液(short hydration)を短時間で投与した報告があり、推奨できるか検討する。
I		short hydration法でシスプラチン投与を実施した患者
C		大量補液投与時の腎機能障害発現率と比較

O1	投与前後の血清Cr値の上昇、クレアチニクリアランスの減少から判定した腎機能障害
非直接性のまとめ	介入の比較がすべて非直接性。
バイアスリスクのまとめ	単施設での観察研究が多いが、腎障害経過後の経過を追跡した文献もあり、バイアスリスクは少ないと判断できる
非一貫性その他のまとめ	研究間で結論に一貫性がある
コメント	
O2	
O3	